

南富良野小学校の特色ある教育活動

◇「豊かな心」の育成・・・やさしく

- ・道徳授業交流(外部講師)・人権教育・いじめ根絶全校児童集会・携帯 SNS 安全教室・防犯教室・防災教育・福祉体験
- ・奉仕活動(校外清掃・募金)・友好の町 沖縄県本部町との交流(相互訪問)

◇「確かな学力」の育成・・・あかるく

- ・南富良野町学習スタンダード・朝学習「コソコソタイム」・放課後学習(ガッチリタイム)
- ・習熟度別指導・環境教育(エジンバラ公の森観察・林業学習・地域の川、イトウ、水棲生物調査・校舎環境学習)
- ・地域施設活用学習(日鉄鉱業・かなやま湖・チップ工場・ポテトチップス工場)・自校施設環境学習(チップポイラー・太陽光)
- ・地域ボランティア読み聞かせ・ALT、中高英語教諭との外国語学習・ICT 機器、端末活用(オンライン)

◇「体力」の向上・・・たくましく

- ・全校縦割り班運動(チャレンジタイム)・高学年よさこいソーラン・マラソンデイ・マラソン記録会・学年遊び
- ・栄養教諭の食育学習、栄養指導・地域人材活用学習(カヌー・ワカサギ釣り・カーリング・スノーシュー体験)

南富良野小学校のあゆみ

◇平成 26 年度

- 4月4日 南富良野町立南富良野小学校開校式挙行
- 4月6日 落合、北落合、幾寅の三校を合併、新設南富良野町立南富良野小学校始業式、第1回入学式

◇平成 27 年度

- 6月10日 昼休み全校縦割り班運動、チャレンジタイム開始

◇平成 28 年度

- 8月31日 台風10号による空知川氾濫・洪水で被災
本校に幾寅地区第2避難所を開設(学校再開9月5日)
- 10月29日 さだまさし氏町民応援コンサート(本校体育館)
- 3月1日 大黒摩季氏スペシャルライブ(本校ホール)

◇平成 29 年度

- 7月7日 陸上教室開催(講師:元五輪日本代表 赤羽有紀子氏)
- 9月4日 町防災訓練に合わせ水害避難及び引き渡し訓練実施

◇平成 30 年度

- 4月25日 第1回学校運営協議会開催(コミュニティ・スクール開始)
- 6月下旬 北海道実践的安全教育モデル構築事業拠点校指定
- 11月5日 北海道実践的安全教育モデル構築事業公開授業
- 11月28日 町教研・町へき複教育研究大会開催

◇令和元年度

- 8月5日 「環境部会に活用できる学校施設検討部会」現地視察
- 8月31日 町主催「1日防災学校」実施
- 2月2日 管内教育実践表彰

◇令和2年度

- 2月27日 GIGA スクール校内 LAN 増設工事終了
- 3月24日 北海道教育実践表彰

◇令和3年度

- 10月28日 文部科学大臣表彰(学校安全)
- 11月26日 上川南部地区へき地複式教育研究大会兼町へき複・町教研大会開催
- 2月27日 北北海道学生書道展学校奨励賞

◇令和4年度

- 11月24日 租税教育推進校表彰

◇令和5年度

- 6月29日 根室本線廃線に関わる体験乗車(3・4年生)

◇令和6年度

- 9月19日 全道へき地・複式教育研究大会上川大会ファーストステージ会場校

◇令和7年度

- 7月1日 内閣総理大臣表彰(学校安全)
- 9月18日 全道へき地・複式教育研究大会上川大会ファナルステージ会場校

【教職員一覧】R7.4.8現在

職名	氏名	担任	分掌
校長	馬場 泰栄	—	—
教頭	山本 健史	—	—
教諭	小野寺隆広	1年	生活安全推進
教諭	大和百合子	2年	教育課程推進
教諭	森川麻実子	3年	研究研修推進
教諭	佐藤 慶弥	4年	生活安全推進
教諭	高田 佑華	5年	生活安全推進
教諭	大内 明	6年	研究研修推進
教諭	裏野 結夏	病弱	教育課程推進
教諭	齋藤 文玲	知的	研究研修推進
教諭	矢野 純弥	言語	教育課程推進
教諭	川越 勝弘	情緒	心身育成推進
教諭	安部 敏和	情緒	教育課程推進
養護教諭	齋藤 絵理	—	心身育成推進
栄養教諭	西村 拓也	—	心身育成推進
学習支援員	服部 理沙	—	—
学習支援員	伊藤 美幸	—	—
学習支援員	早坂 圭江	—	—
学習支援員	鳥羽 綾香	—	—
学習支援員	須甲 詩温	—	—
事務職員	山本 賢一	—	事務
公務補	新田 清巳	—	環境整備

【在籍児童一覧】R8.4.8現在

学年	男子		女子		計	
	在籍	支援	在籍	支援	在籍	(支援)
1年	6	2	3	0	9	(2)
2年	7	1	7	1	14	(2)
3年	5	2	9	2	14	(4)
4年	7	3	5	0	12	(3)
5年	9	2	9	1	18	(3)
6年	4	1	17	1	21	(2)
計	38	11	50	5	88	(16)



令和8年度 学校要覧

学校教育目標

『明日を切り拓く 心豊かでたくましい子ども』
やさしく あかるく たくましく

「学ぶ喜びを実感し、

自信をもって挑戦する子どもの育成」



校歌

一 清き流れの空知川
遠くに望む十勝岳
光と森に抱かれた
南富良野のみずうみよ

二 汚れまだなき山峡の
めぐりの山にほの白き
辛夷の花が咲き薫る
ここはみんなのふるさとよ

三 黒土匂う畑が生む
豊かな大地このめぐみ
今日も体を鍛えつつ
未来に大きく羽ばたこう

作曲 山名康郎
作詞 平原一良



校章

南富良野の「み」、「未来」「みんな」の「み」の字に、
かなやま湖と空知川を描き、頭部に町花のヒナゲシのつ
ばみを合わせ、豊かな環境で元気に育つ、未来を担う児
童の様子を表現したものです。また、ヒナゲシの花は、地域
が支える学校を象徴しています。

南富良野町立南富良野小学校

〒079-2400 北海道空知郡南富良野字幾寅844
TEL 0167-52-2311
FAX 0167-52-2375
メール ikutora-js@furano.ne.jp

令和8年度 南富良野町立南富良野小学校 グランドデザイン

「安心して挑戦できる、“学びと成長のテーマパーク”」 ～子どもも大人も、教師たちも、みんながわくわくする学校へ～

“楽しさ” × “学びの深さ” × “人とのつながり” が循環する場 子ども・教師・地域が共にわくわくし、共に成長する空間

南富良野小学校は、「まほうかけあいだ」でつながる温かい学びの共同体として、探究と協働を通じて“学ぶ喜び”と“挑戦する楽しさ”があふれる「教育のワンダーランド」をめざします。そこでは、子どもはもちろん、教師・保護者・地域のすべての人が、互いに学び合い、支え合い、成長し合う『学びのテーマパーク』のような学校づくりを進めていきます。

学校教育目標 『明日を切り拓く心豊かでたくましい子ども』～ やさしく あかるく たくましく～ **基本方針** : 「まほうかけあいだ」でつながる 探究と協働で未来を拓く学校

頭文字	ワード	具 体	頭文字	ワード	具 体
ま	まなざし	子どもの良さ・成長に気づき、承認するまなざしを大切にします。	け	ケア(知と心)	学習面・心の面で支援を行い、誰も置き去りにしない。個別最適化された支援を行う。
ほ	ほほえみ	温かい人間関係を広げる。笑顔での挨拶や、肯定的な声かけを行う。	あ	あいさつ	学校生活の基本としての挨拶を習慣化し、家庭・地域と連携する。
う	うるおい (環境整備)	安心して学べる教室環境、ICT環境、掲示物等を整備し、落ち着いた学べる空間を保障する。	い	いそどり	多様な学びや表現活動を充実させ、子どもの個性を尊重する。
か	かかわり	協働を重視した学びや生活。教師同士・子ども同士・地域とのつながりを深める。	だ	誰一人も取り残さない	インクルーシブ教育の実現をめざし、合理的配慮、学び直し、協働的な支援で全員の学びを保障する。

目指す学校像	目指す子ども像	目指す教職員像
まなざしとほほえみがあふれ、協働で学び合う温かい学校	知・徳・体の調和がとれ、未来を切り拓く力をもつ子ども	子ども中心に、共に学び続ける専門職集団

2. 教師も学び続ける“共創チーム”の学校

- 教師同士が互いの授業を見合い、「どうすればもっと子どもが輝くか」を語り合う文化。
- 教職員が「学びのデザイナー」「感動の演出家」として誇りをもてる職場。
- 校内研修や研究授業を、義務ではなく「自分の成長のステージ」と捉える。



学ぶ喜びと安心の両立をめざすスタートアップ期

【第1ステージ】令和8年度 — 土台づくりの年 —

「まほうかけあいだ」でつながる温かい学びの基盤を整える

観点	主な取組	ねらい
授業・学び	・授業改善PDCAの確立(授業改善チェックリストの定着)・読解力・要約力・自己効力感の育成	「できた」「わかった」を実感する授業文化の定着
学級経営・生徒指導	・学級経営チェックリスト・ありがとうカードの活用・安心できる人間関係・心理的安全性の確立	“安心して挑戦できる教室”をつくる
道徳教育	・対話的な道徳授業の基盤づくり・感情理解・相手意識をもった話し合い活動・「まほうかけあいだ」行動の定着	安心して語り合い、相手の気持ちを理解し合う土台をつくる
特別支援教育	・IEP活用・支援体制の共有・インクルーシブ文化の発信	誰一人取り残さない学校文化の基礎づくり
地域・家庭連携	・家庭学習・メディア使用の意識改革・地域講師の授業参加	地域・家庭と学校の信頼関係の再構築
健康体育	・生活リズム定着・体力向上プログラム・安全教育・避難訓練の高度化(体験型訓練)・防災体育の導入	健康・安全を土台とした学校生活の確立/自分の命を守る行動の育成
教職員文化	・協働研究・振り返りの定着・「まほうかけあいだ通信」で成果共有	教師同士が支え合い、成長を喜び合う職員文化を醸成

子ども・教師・地域が“共演者”として学び合う学校へ

【第2ステージ】令和9年度 — 文化の定着と広がり — 「探究と表現」を軸に、子どもも教師も主役になる学校へ

観点	主な取組	ねらい
授業・学び	・教科横断的探究学習の本格実施・プレゼン・発表会・表現活動の充実	学ぶ・創る・伝える力を伸ばす
学級経営・生徒指導	・SELプログラムの全校展開・挑戦活動・レジリエンス教育	失敗を恐れず、挑戦と立ち直りを繰り返す力を育む
道徳教育	・道徳実践意欲を育てる授業への深化・シグソー討議やロールプレイの活用・挑戦と立ち直りの価値理解	考えを深め、自分の行動を自分で選び取る姿を育てる
特別支援教育	・「ユニバーサルデザイン授業」研究の展開	全教職員で多様性理解を共有する文化
地域・家庭連携	・地域体験・課題解決型学習(地域ワークショップ)・家庭版ありがとう運動	学校・地域・家庭の三位一体による“共育文化”の形成
健康体育	・仲間と挑戦する体育(協力・チームワーク)・運動習慣の定着・体力向上プランの継続・地域スポーツ連携	楽しさと挑戦を核とした健康文化の定着
教職員文化	・学び合い型校内研修の深化・若手×ベテランの協働授業	教師がわくわくしながら学ぶ学校文化の定着

5. 多様性と包容力にあふれる学校

- 「誰一人取り残さない」という理念を、支援の仕組みだけでなく日常の人間関係で実現。
- 一人ひとりの個性・得意・困り感を理解し合い、互いに支え合う文化。
- 特別支援教育の視点を全教職員が共有し、すべての教室がインクルーシブに。

【令和8年度重点の3視点】

- ① 学ぶ意欲と自己効力感を高める授業改善
- ② 家庭・地域と連携し、一人ひとりを支える学校文化の確立
- ③ 探究と体験を重視した、地域と共にある教育活動の推進

【PDCAサイクルによる継続的改善】

1. 子どもが主役の“体験と発見”に満ちた学校

- 学びが「教えられること」ではなく「自分で見つけ、仲間と創ること」になる授業。
- 教室が“学びのアトリエ”のようになり、探究・表現・挑戦が日常になる。
- 例) 教科横断的探究プロジェクト/地域体験・自然学習/ミニフェスタやプレゼンターなど。

子どもも大人も“挑戦と感動の連鎖”を生み出す学校へ

【第3ステージ】令和10年度 — 発信と持続の年 — 南富良野モデルとして「学びのワンダーランド」を発信

観点	主な取組	ねらい
授業・学び	・南富良野版探究カリキュラムの確立・児童による地域課題解決プロジェクト	学びを社会とつなげる実践の深化
学級経営・生徒指導	・安心と挑戦を支える「レジリエンス週間」「チャレンジウィーク」	自己有用感・自己効力感の確かな成長
道徳教育	・学びの成果と成長の発信・地域の生命や歴史を題材とした道徳学習発表・実践の共有(学校・地域)	社会の中で生き方と価値を語り合う文化の形成
特別支援教育	・支援実践の発信(教育委員会・研修会等)	インクルーシブ教育の先進モデルとして共有
地域・家庭連携	・学校運営協議会・地域フェスでの発信・地域×学校の探究博覧会	学校が“地域の学びのテーマパーク”となる
健康体育	・体力向上成果の可視化・成果発表会・防災フェスタ(地域連携)・地域と共同の運動・防災プロジェクト	持続可能な健康文化と防災・安全教育の発信
教職員文化	・教職員が自ら学びを発信(公開授業・実践報告)	教師が誇りと喜びをもって働く学校へ

3. 安心と挑戦が両立する学校

- 失敗を恐れず挑戦できる“心理的安全性”をもつ教室づくり。
- 「できた!」「わかった!」の小さな成功体験を共有し、挑戦を励ます文化。
- SEL(社会性・情動学習)やレジリエンス教育を通して、立ち直る力を育む。

4. 地域・家庭・学校がつながる“学びの共同体”

- 学校を地域の「学びのステージ」として開く(地域講師・ボランティア・行事共催など)。
- 子どもたちが地域に役立つ活動を通して「自分が社会の一員である」ことを実感する。
- 保護者・地域も「観客」ではなく「共演者」として関わる。

